

Yell

～絆を深めて Keep Smile～

第147号 令和3年3月4日（木）

朝…それは、1日の中で最も大切な時間。



朝登校した子ども達が真っ先に目にするのがお迎えの黒板。教科担任制では、限られた時間を有効に使います。担任の先生が子ども達のためにできることを考え、朝の時間を大切にしています。お迎え黒板もその一環です。



「今日の予定は〇〇です。」

短い時間に予定を告げる担任の先生。しかし、その後必ず1日の中で目指してほしい姿を伝えます。このように、日々小さな財産を、少しずつを増やしていきます。



「朝の健康観察をしますよ。」

担任の先生は、子ども達一人一人の姿を見ながら、ほんの小さな心の変化を見落とさないように心がけています。

不易を大切に！タブレットが大切なわけではありません！



あれ？どうやってら
プログラムがうまくい
くのかなあ？

こちらはタブレットを使ってプログラミングをしているところです。左のような、複雑なプログラミングを提示し、グループでの作成を指示しました。子ども達は、トライ＆エラーを繰り返しながら、ようやく完成！

「やったあ、できたぞ！」

達成感に満ち溢れる子ども達。タブレットは、そんな子ども達の成長を応援するツールなのです。

コロナ禍だからこそ手に入れた「大切なもの」



休校から1年。最近の報道でも、よく学校生活の変化について取り上げられている様子を目にします。

「不自由になった、大きく変わってしまった…」
このように報道されることが多いのですが、そこは発想を変え、私たちはこの言葉を合言葉に1年間子ども達のために頑張ってきました。それは…



今、この一瞬にありがとう！



もちろん、タブレットを使った学習をするときも、子ども達の未来を見据えて様々な取り組みをしてきました。

大切なのは、タブレットではなく、タブレットを使うことで子ども達の心を育むことです。

左の写真は、6年生のために一生懸命重たい台を運び、試行錯誤を重ねながら会場づくりをしている5年生の様子です。不自由な中でも、子ども達の心は育ちました。

常に子ども達の未来を考え、ポジティブに物事をとらえながら、新しい環境を創る1年間。子ども達の心を大切に！そして、支えてくださった保護者の方への感謝の気持ちを大切に、残りの日々を過ごしていきます。

保護者の皆様、残りの日々も、ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。